

# 松禪寺報

<http://syozen.com>

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail [kenpou@syozen.com](mailto:kenpou@syozen.com)

第42号

発行 平成22年9月25日

## 「がたぴし」を「調える」

食事中に舌を噛んでしまつて痛い思いをしたことはありませんか。私も時々やめるのですが、つい最近では噛んだ後の出血が止まらず貧血状態になり、結局病院で噛んだところを縫合してもらいました。

例えば、口の中にある舌ですが、食べ物や口に入れて噛むのに舌を噛まないのは不思議なことです。いろいろ調べてみると、食事の舌は、食べものを歯が当たるころへ運んだり、噛むという動作のときは歯の間に食べ物を保持する役割があるそうです。しかも、この運動は反射的に行われ、私たちが食事をするときは無意識に舌も動いているのです。つまり、食べ物が入ってきて歯と歯の間に運んできたとき、噛むという動作との連係が悪くて舌を噛んでしまうようです。



障子や襖の開け閉めが悪くなると、「この戸は「がたぴし」するなあ」と言いませんか。実はこれ、本来は仏教語としての「我他彼此（がたひし）」に由来するそうです。玄侑宗久師の解説では、「我」が生ずることで「他」が生じ、「彼（かれ）」と「此（これ）」もいわば「我」の分別によつて区別されるから、物事がうまく噛み合わず、そのために動きがぶくぶくなつて騒々しくなる、そんな様子の全てが、この言葉で表されるのである。（中央公論より）

となつています。本来一体であったものが、自分だけの偏った



考えや狭い考えによつて、平安が失われた状態のことで、無意識に行つてきた機能というか連携が崩れてしまった状態のことなのでしょう。食べる、舌が歯のところへそれを運ぶ、それを保持する、こんなバランスが何かの要因で崩れてしまい、思い切り歯を噛んでしまった私です。その要因は何だろうか、イライラしていた、食事を楽しくむという思いではなくほかに何かを考えていた、そのために早食いになつていた…、いろいろ

と要因は思い当たりません。素晴らしい機能を持ち合わせている人間のからだも、ちょっとした心の不安定さが他の機能のバランスを崩してしまいます。何事も「調える」ことが肝要なのでしよう。食べる、そのことも大切にしましよう。

# 戒名と布施について

## 戒名には仏さまの教えが込められています

今秋は、妙心寺派山陰東教区による御親化授戒会が執り行われます。授戒会とは、仏教徒としてどのように生きていくべきかを学び、修行する場です。具体的には、加行礼拝(懺悔と礼拝の儀式)等を行い、説教を聴き、その結果、血脈を授与される法要です。この血脈は、お釈迦様のお弟子になったという証ですが、そ



▲加行礼拝=静岡東教区

のなかにはお釈迦様の教えとなる二文字が書かれています。一般にいう戒名の二文字です。本来私たち仏教徒は、生前に授戒会に参加して戒名を授かるべきなのですが、その機会を逃していたり、死者のみに付けるものという思い込みがあったりします。

その戒名とは、前述のとおり仏教徒としてのいわば名前です。「戒」とは、戒め、戒律、守るべき行動規範などのことですが、何よりも仏さまの尊い教えが込められています。戒名は、でたらめに漢字を並べたものではなく、すべて仏さまの言葉として多くの教えが込められています。

では、臨済宗での戒名について説明いたします。「稲雲智耕」という戒名を例に挙げます。「稲雲」は道号といつて、さしずめ高僧を呼ぶ名称のようなものです。稲が雲のように広がるさまを表します。下の二文字「智耕」が戒名です。智慧を磨く

という意味です。一文字目と四文字目の「稲耕」も熟語となり、農業に励むさまを表します。雲を踏むような山間でも農耕に励む、それを修行によって智慧を磨く精進に喩えた戒名です。また、職業やその人の性格などを表す一字、あるいは俗名の一字を戒名に用いたりします。

さらに戒名の下に、男性には居士・禅定門・信士、女性には大姉・禅定尼・信女、子供には童子・童女などの号をつけ、戒名の上に院号、軒号、亭号を冠するこ

ともあります。死んでも差別があるのかと言われる方もありますが、院号が付いたり付かなかったり、居士や信士であったりということのみれば、確かに位の差があることは事実です。これは、寺院の護持ということにも関係するところから、このような差が出たものと思います。

江戸時代は寛文4年に江戸幕府がキリスト教徒などを強制的に改宗させることを目的に、寺檀制度(寺請制度ともいふ)を設けました。寺檀制度によって、民衆はい

御親化授戒会  
とき 平成22年11月21日(日)~22日(月)  
ところ 和山町竹田 観音寺  
戒師 河野太通 老大師  
自らを見つめ 自らを調える法会  
山陰東教区





▲秋の実り、自然の恵みがいっぱい入ったお弁当

# 秋彼岸法要を執り行いました

## 本山からの米寿お祝いも伝達しました

ずれかの寺院を菩提寺ぼだいじと定め、檀家になることを義務づけられました。一方、寺院では他宗派への信徒への布教や新しい寺院の建立を禁止され、その勢力の拡張が困難になったようです。つまり、民衆が特定の寺院の檀家として代々を葬り、その供養をお願いするかわりに、寺院の護持を率先して行うことが基本となったのです。そのため、家によって代々院号であったりと、寺院護持の度合いをはか

秋彼岸の中日会を9月23日(秋分の日)、松禪寺で執り行いました。例年の通り朝8時から当番さんによる食事作りが行われ、秋の恵み、自然の恵みをたくさん詰め込んだ、おいしいお弁当に仕上がりました。

約30人の皆さんのお参りがあり、午前11時過ぎから本堂で皆さんと一緒に彼岸法要を執り行いました。法要後は、当番さん手作りのお弁当をいただき、実りの秋と、今ある命に感謝しながらその

る物差し代わりにもなりました。また、寺への奉仕度を尺度として格差が生じる場合もあり、本来世襲されるべきものではないのですが、小さな寺院の護持を考えた場合、そのようにせざるを得ない状況もあつたりと、現在に至っています。

これにより、布施や護持会費に



も格差が生じます。布施とは修行の一つ、その行為なのですが、一般的には僧侶への御礼の金品となつています。みなさま方から納めていただく通常会費は護持会の経費です。葬儀や法事でいただくお布施は、すべて寺院維持の経費として使用するため宗教法人松

## 妙心寺派花園会本部より 米寿のお祝い

今年も妙心寺派花園会本部に申請をして、米寿を迎えられた檀信徒の皆さん6名(中島強さん、森下きくゑさん、西垣登代子さん、中島貞枝さん、中島あい子さん、藤田幸夫さん)の方々に、お祝いの表彰状と輪袈裟をいただきました。秋彼岸法要の後、出席された皆さんには任職より伝達し、お参りの皆さん全員でお祝いの拍手を

味覚を皆さんと一緒に楽しみました。



▲ますますのご長寿を願ってやみません

禅寺の収入であり、直接任職個人の収入となるわけではありません。この寺院維持経費の中には、住職や寺庭の給与も含まれてます。つまり、住職も給与所得を得て所得税を支払わなければなりません。「坊主丸儲け」と思われている方も多いとは思いますが、お布施は松禪寺を守っていくための大切な資財というお考えでお納め頂ければ有り難く思います。

送りました。お家に長寿の方々が居られるのは家庭和楽のもとであり、一家繁栄の瑞兆とお祝い申し上げる次第です。ますますのご長寿を保たれるようお願いさせていただきます。おめでとございます。

### 通常会費(後期分)納入 ご協力お願いいたします

今月は、松禪寺護持会の通常会費(後期分)をお願いしています。各議員さんより納入の依頼があると思いますので、何卒よろしくご協力ください。なお、これから護持会の収支決算及び予算につきまして、本年2月末に配布しました資料をご覧ください。

### 秋期特別布教のご案内

妙心寺派山陰東教区では、次のとおり秋期特別布教を開催しま

### 達磨忌のご案内

来る11月3日(水)、松禪寺では達磨忌と開山忌を営みます。

達磨大師は、禅宗の開祖です。南インドの小国の王子として生まれ、後に出家して菩提達磨と名を改めます。禅を伝えるために中国に渡り、洛陽の少林寺で面壁して坐禅すること9年に及んだと言われています。

また、松禪寺は来翁祖諱和尚大らいおうそじゆん

す。今回は特に、11月に行う御親化授戒会を控えて、授戒会の意義などを研修しながら、特別布教のテーマである「調える」とは何かを学びます。誰でも参加できますが、御親化授戒会に参加される皆さんの出席を特にお勧めいたします。

#### 【秋期特別布教】

日時 10月23日(土)

13時30分受付

14時15分開会

16時30分閉会

場所 幸徳殿(和田町)

会費 無料

内容 特別布教、授戒会予習など

禅師を開基として、禅師の師である一笑禅慶和尚大禅師を勧請開山としていきます。10月20日を忌日としております。

この達磨忌と開山忌を次のとおり執り行いますので、ぜひお参りください。

とき 11月3日(水)

午前11時より法要

正午齋座(けんちん汁)

場所 松禪寺本堂

※恐れ入りますが、炊事当番さんは午前8時にご来山ください。

布教師 鈴木眞道師(元花園会本部長)  
※参加ご希望の方は、松禪寺までご連絡ください。

#### 第3回

### 四国霊場巡拝

参加者募集中

第3回四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅を、次のとおり実施いたします。3回目からの参加も大歓迎ですので、ぜひご参加ください。

実施日 11月29日(月)～30日

(火) 1泊2日

巡拝先 28番大日寺から36番青龍寺までの9ヶ寺。桂浜の観光もあります。宿泊は高知市内のホテル。詳細は、案内チラシをご覧ください。

参加費 3万6千円(お一人様) 申込み 11月7日(日)までに松禪寺へ。前回参加者には個別に案内を差し上げます。



### 松禪寺霊園

契約者募集中

境内地の静寂に心やすらぐ墓地



▲お問い合わせ、ご相談は松禪寺まで

松禪寺霊園の使用者を募集しています。お寺の境内地ですので、維持管理はお寺が行います。駐車場のすぐ側にありますので、足の悪い人、車いすを使用される人でも安心してお参りできます。松禪寺の檀家、あるいは今後檀家になつていただける人を対象にしています。お問い合わせ、使用ご希望のご相談は、松禪寺か総代役員にお願いいたします。